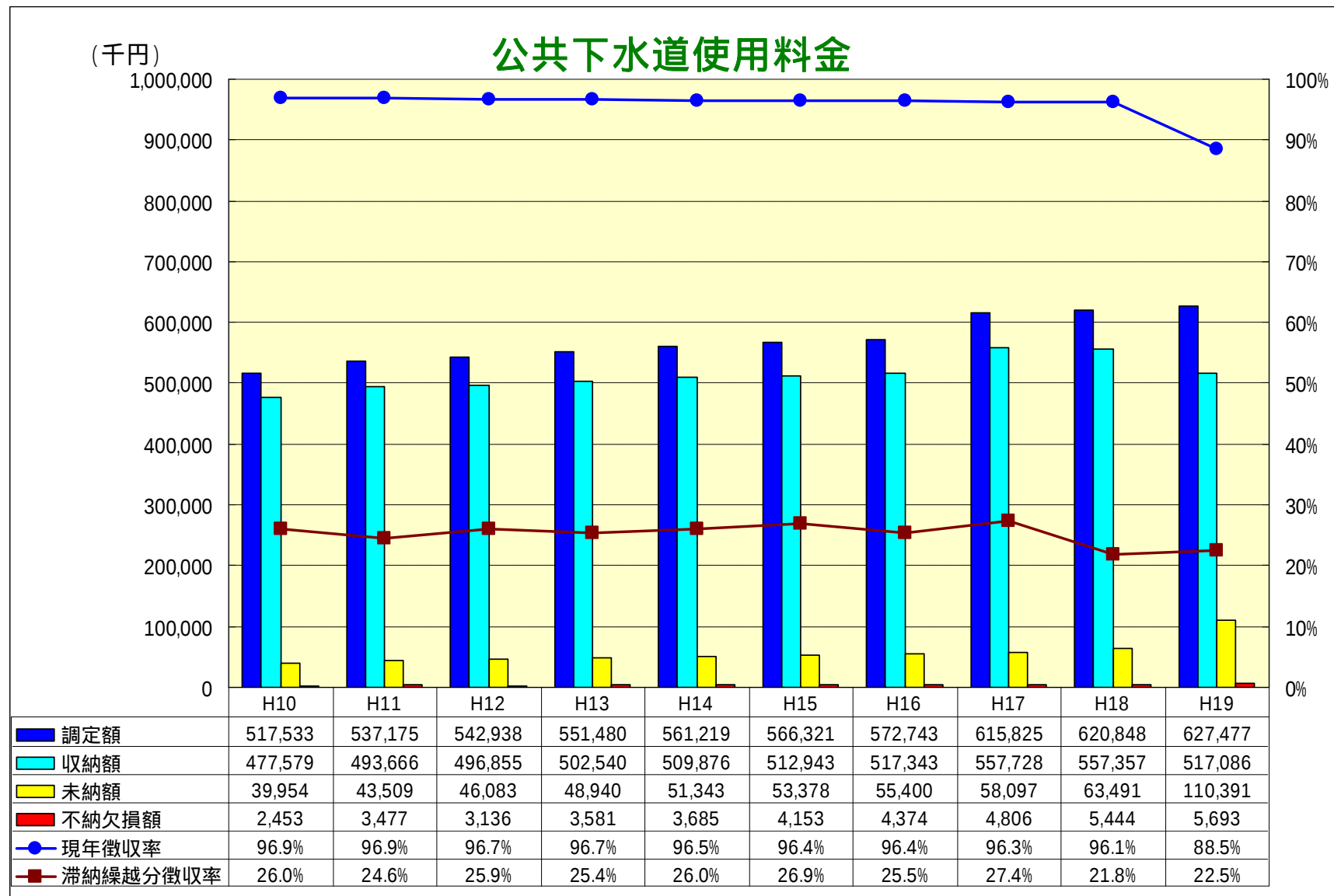


平成21年 第1回
石狩市下水道事業運営委員会

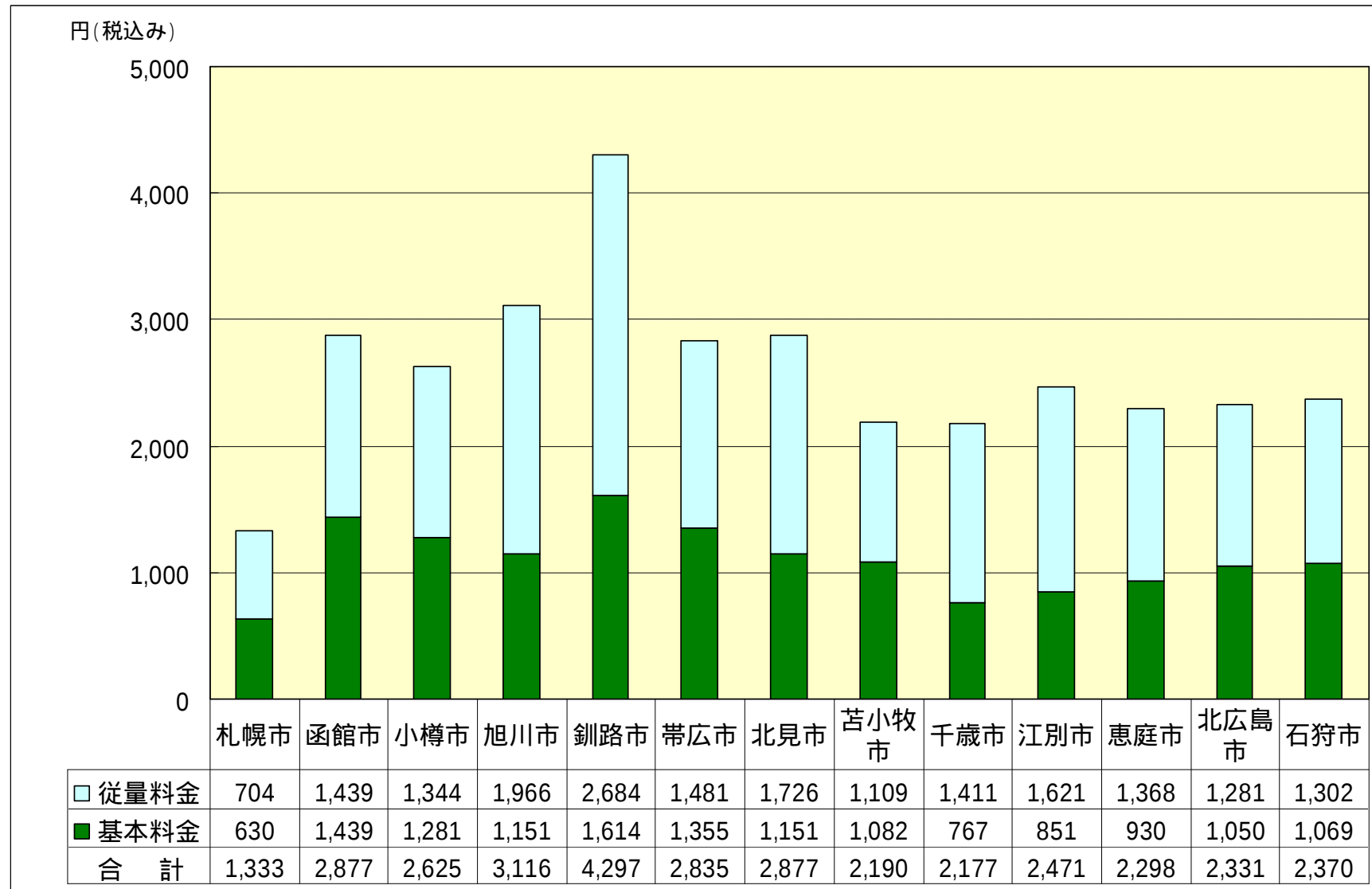
下水道使用料改定について
(追加資料)

平成21年1月22日

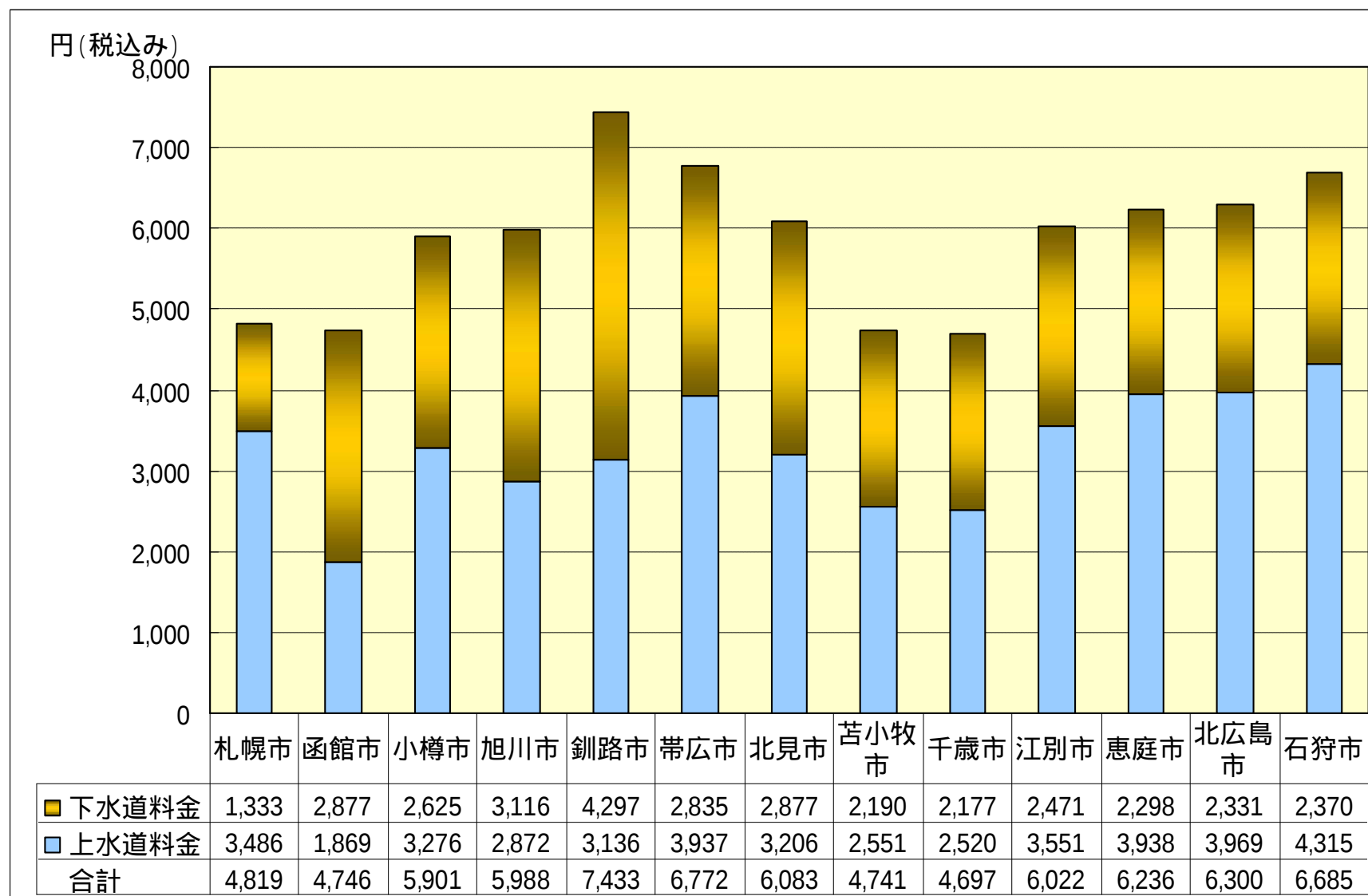


不納欠損について、時効(賦課後5年間が経過)が成立したものを対象としている。

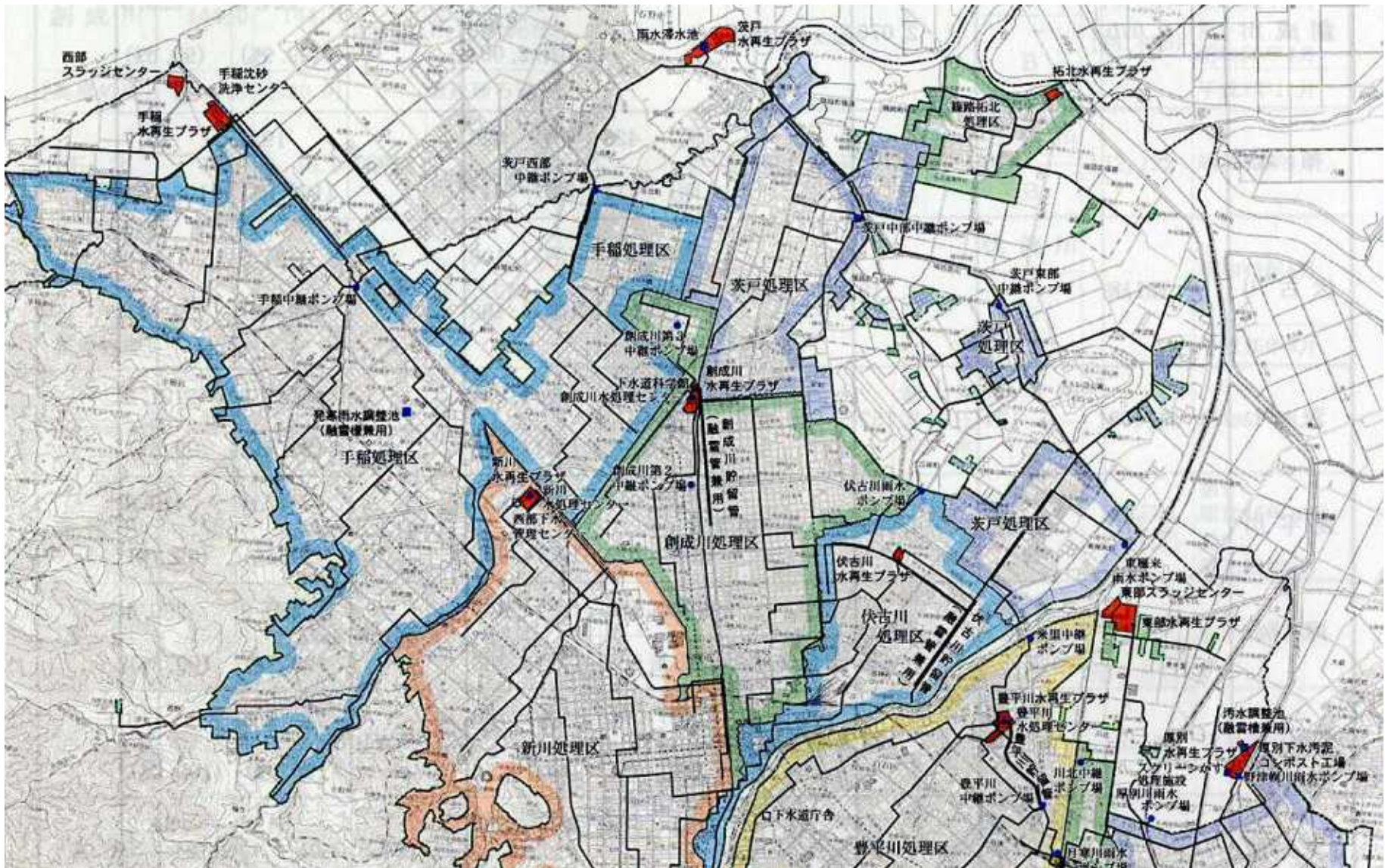
下水道使用料道内各都市比較 (20m³/月の場合)



上水道及び下水道使用料各都市比較(1月20m³使用した場合)



札幌市への負担施設位置図



札幌市への負担金について

建設負担金

→ 茨戸処理区

茨戸水再生プラザ	水処理
西部スラッジセンター	汚泥処理(圧送・濃縮・脱水・焼却)
厚別水再生プラザ	スクリーンかす処理

→ 手稲処理区

手稲水再生プラザ	水処理
西部スラッジセンター	汚泥(濃縮・脱水・焼却)
厚別水再生プラザ	スクリーンかす処理

→ 八幡処理区

西部スラッジセンター	汚泥(焼却)
------------	--------

維持管理負担金

→ 茨戸処理区

茨戸水再生プラザ
西部スラッジセンター
厚別水再生プラザ

下水水量比、計画水量比
1t当り処理費、計画水量比
建設中

→ 手稲処理区

手稲水再生プラザ
西部スラッジセンター
厚別水再生プラザ

1m³当り処理費、計画水量比
1t当り処理費、計画水量比
建設中

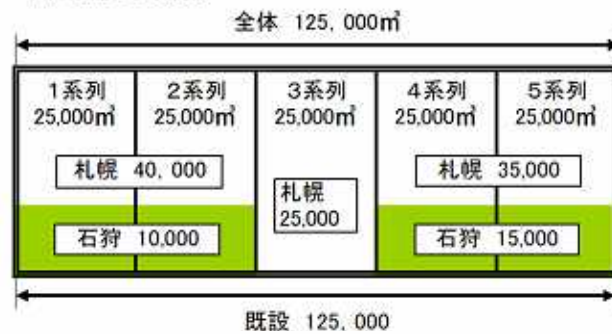
→ 八幡処理区

西部スラッジセンター

1t当り処理費、計画水量比

茨戸処理区関連建設負担

(1) 水処理(既設)



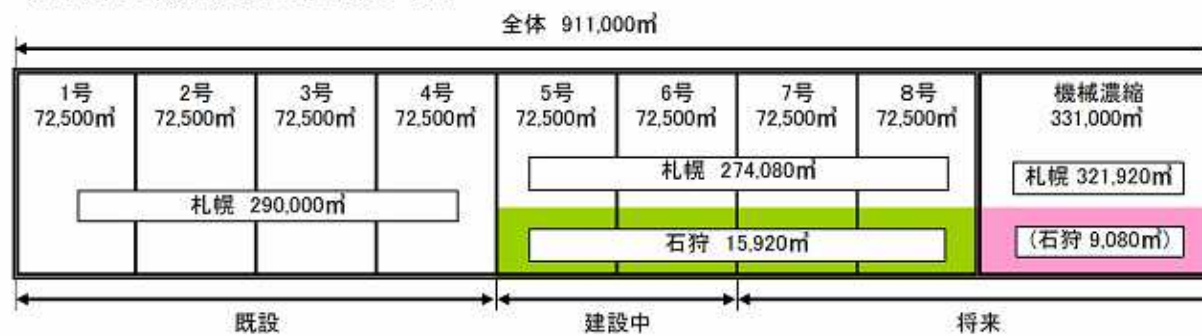
(2) 西部SC(脱水施設)の建設及び増設



(3) 西部SC(焼却施設)の建設及び増設

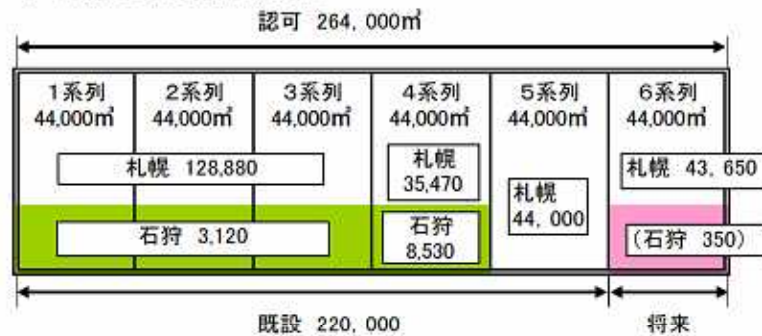


(4) 西部SC(濃縮施設)の建設及び増設



手稲処理区関連建設負担

(1) 水処理の建設・汚泥処理



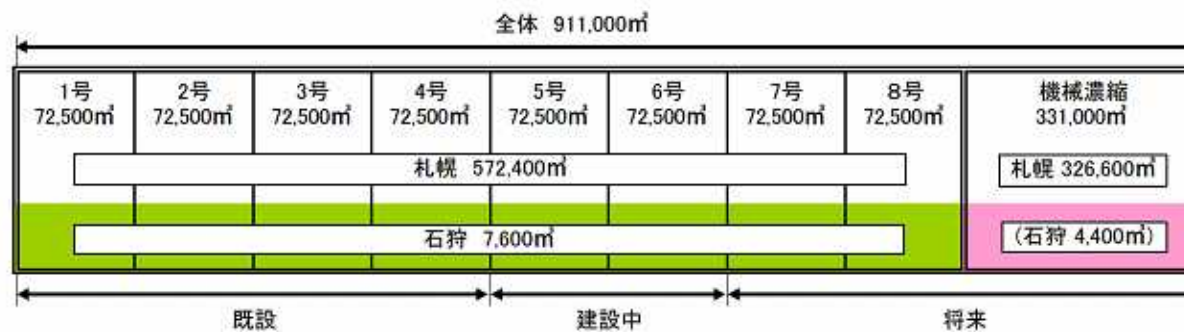
(2) 西部SC(脱水施設)の建設及び増設



(3) 西部SC(焼却施設)の建設及び増設

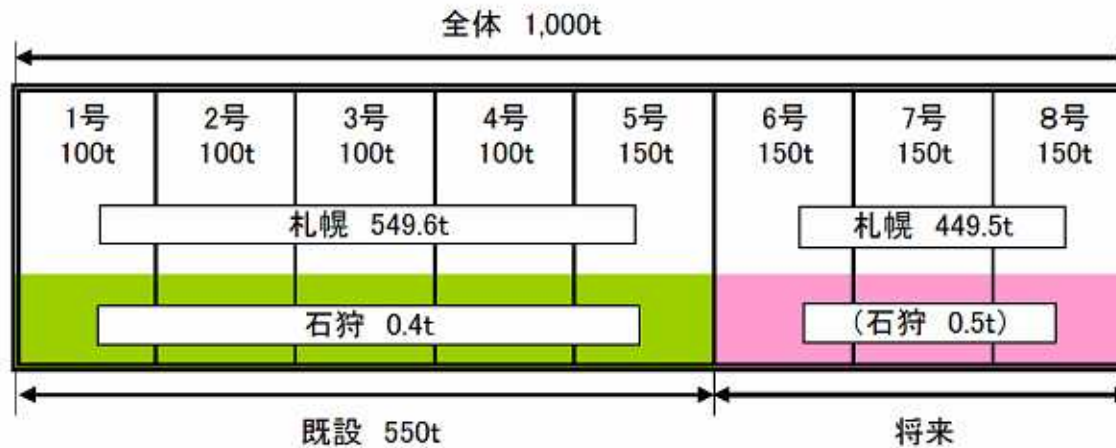


(4) 西部SC(濃縮施設)の建設及び増設



八幡処理区関連建設負担

(1)西部SC(焼却施設)の建設及び増設



厚別水再生プラザ

(1)スクリーンかす処理施設の建設

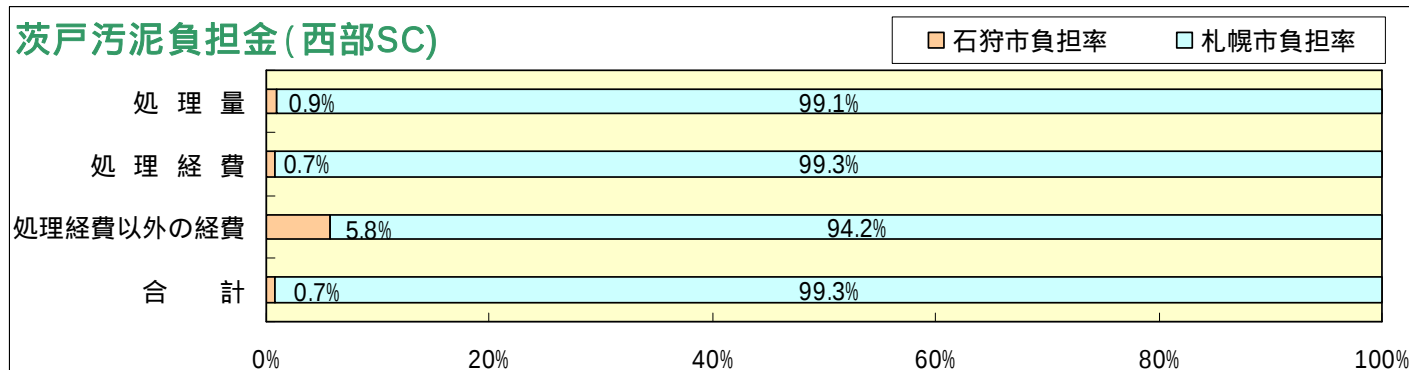
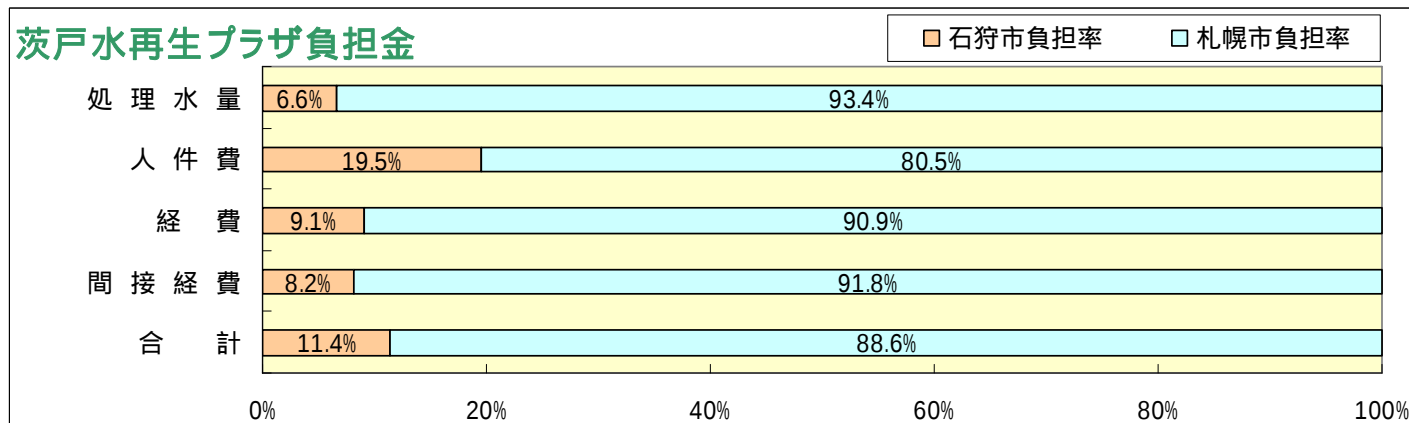
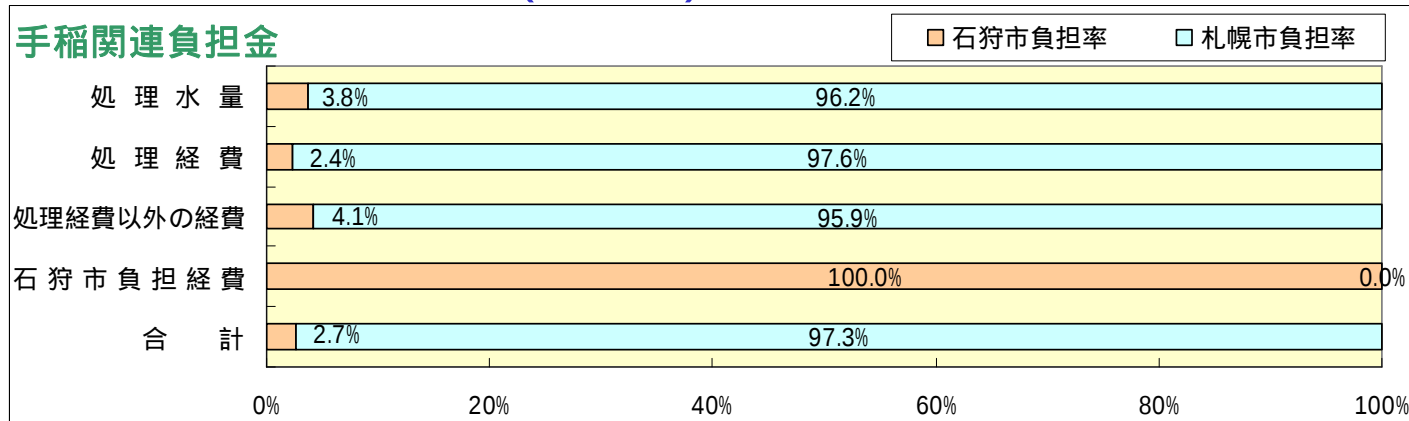


平成19年度決算 維持管理負担金(札幌市)

費用負担区分	対象経費	石狩市負担 決算額(円)	比率	全 体 額 (円)
手稲処理区の水処理・汚泥処理 (手稲水再生プラザ・手稲中継ポン プ場・西部スラッジセンター)	処 理 経 費	43,099,445	2.4%	1,798,160,747
	処理経費以外の経費	14,225,033	4.1%	345,742,723
	石 狩 市 負 担 経 費	210,950	100.0%	210,950
	合 計	57,535,428	2.7%	2,144,114,420
茨戸処理区の水処理 (茨戸水再生プラザ)	人 件 費	40,213,233	19.5%	206,425,174
	経 費	50,856,811	9.1%	560,074,663
	間 接 経 費	10,183,939	8.2%	123,892,207
	合 計	101,253,983	11.4%	890,392,044
茨戸処理区の汚泥焼却 (西部スラッジセンター)	処 理 経 費	10,281,219	0.7%	1,398,220,622
	処理経費以外の経費	62,028	5.8%	1,073,994
	合 計	10,343,247	0.7%	1,399,294,616
総 計		169,132,658		

処 理 量	手稲処理水量 (m³)	2,479,830	3.8%	66,102,060
	茨戸処理水量 (m³)	2,862,150	6.6%	43,562,000
	茨戸汚泥量 (t)	1,439	0.9%	154,920
単 価	手稲水再生プラザ (円/m³)	23.20		
	茨戸水再生プラザ (円/m³)	35.38	38.99	
	茨戸汚泥焼却 (円/t)	7,188	3.61	(円/m³)

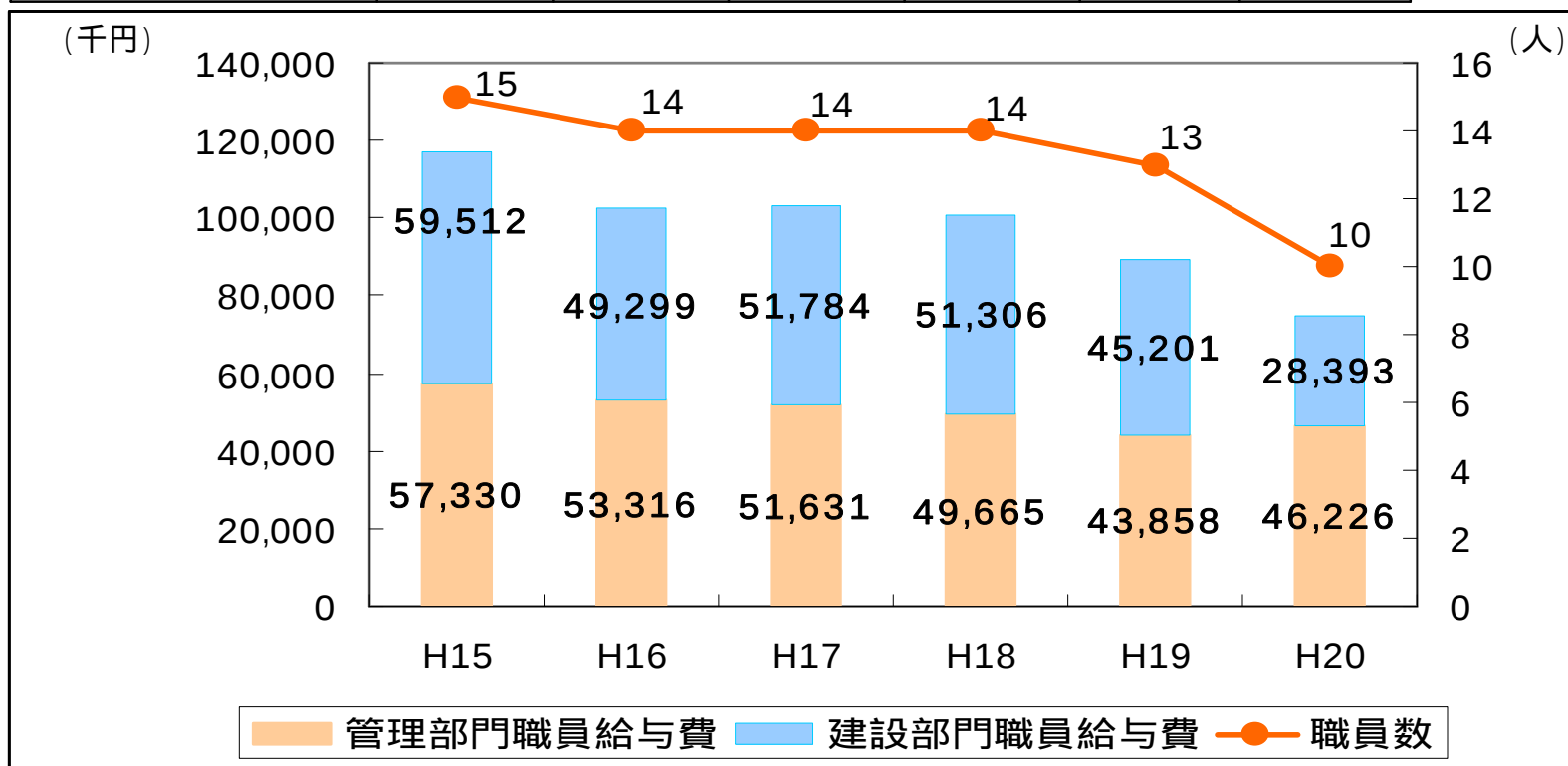
維持管理負担金の比率(H19)



職員給与費及び職員数の推移

(千円)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20
職員給与費計	116,842	102,622	103,422	100,978	89,066	74,625
職員数計	15	14	14	14	13	10
管理部門	57,330	53,316	51,631	49,665	43,858	46,226
	7	7	7	7	7	6
建設部門	59,512	49,299	51,784	51,306	45,201	28,393
	8	7	7	7	6	4



審議内容のまとめ

下水道事業の経費負担区分

- ・ 雨水処理に係る経費 = 公費負担
- ・ 汚水処理に係る経費 = 私費負担

ただし、汚水処理に係る一部の経費は公費負担

- ・ 水質規制事務
- ・ 水洗便所改造事務
- ・ 不明水処理事務など

雨水処理に係る経費は税金などで賄い、
汚水処理に係る経費は使用料として使用者に負担していただくことが原則。

- ・ 「第1～5次下水道財政研究委員会提言」
- ・ 「地方公営企業繰出金について(自治省通達)」

経営健全化への取り組みについて

建設に関わる経営改善

全体計画の変更 → 平成21年度に法手続き(過大投資の抑制)

建設事業費の縮小 → 元金償還額以内に抑える。

建設事業におけるコスト縮減

最小管径の見直し、人孔間隔の延伸、入札制度改革等。

管理に関わる経営改善

茨戸処理場の事務組合解散 → 平成14年度解散

維持管理費の削減

施設管理委託の一本化 → 平成20年度より3ヵ年委託
(ポンプ場4箇所と処理場3箇所)

水洗化率の向上 → 個別訪問等

有収率の向上 → 管路点検・修繕、誤接続の防止。

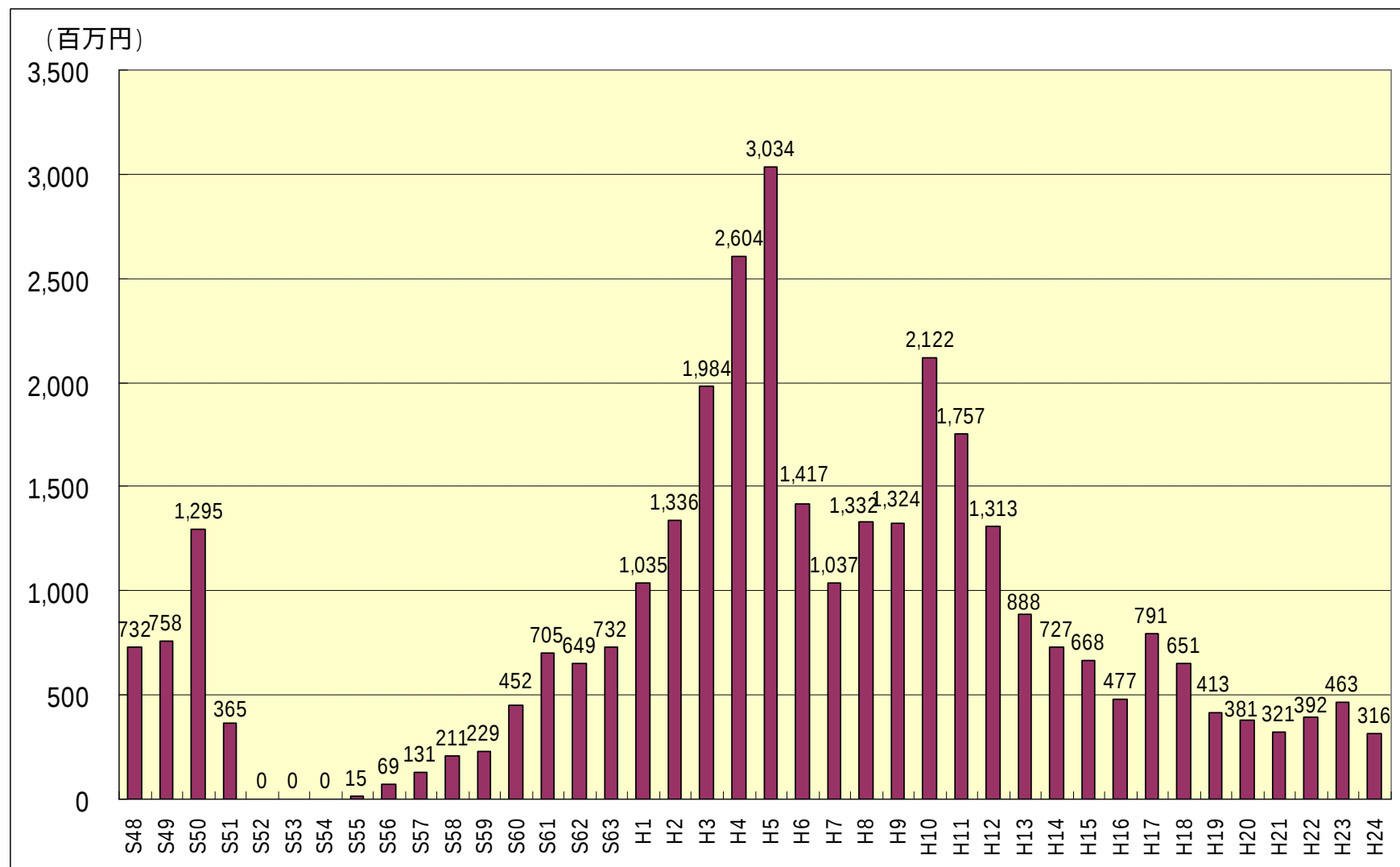
事務に関わる経営改善

企業会計への移行(平成20年度より)

借換債の利用 → 利率6%以上の起債を繰上償還。

職員削減 → 約8,000千円/人・年

公共下水道事業投資額の推移 (単位:百万円)



職員の配置計画

(単位:人)

年度 区分		H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
管理職		2	2	1	1	1	1	1
下水道 管理課	庶務	3	3	2	2	2	2	2
	管理	3	3	3	3	3	5	5
下水道 建設課	計画	2	2	4	3	3		
	建設	4	3					
厚田(特環)		1	1	1	1	1	1	1
合計(特環除く)		14	13	10	9	9	8	8
備考		合併初年 特環引継	八幡供用	1課3係制 企業会計	平和着工		1課2係制 包括委託	

施設の管理計画

(税抜き、単位:千円)

区分 \ 年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
管渠費			36,064	36,460	36,428	36,569	36,404
点検清掃	5,288	3,697	4,945	5,019	5,094	5,170	5,248
管渠修繕	6,449	7,270	6,320	6,415	6,511	6,609	6,708
ポンプ場費			21,616	28,404	29,152	26,415	26,691
管理委託	8,881	8,041	6,586	6,586	6,586	6,718	6,718
動力費	8,390	7,036	8,315	8,440	8,567	8,696	8,826
修繕費	5,497	2,634	3,481	10,095	10,667	7,619	7,714
処理場費			205,165	209,221	213,382	217,773	222,157
管理委託	0	0	6,010	6,010	6,010	6,130	6,130
手稲負担金	59,387	67,422	65,097	65,413	65,730	66,049	66,369
茨戸負担金	88,718	106,753	118,720	122,067	125,509	129,048	132,687
西部負担金	11,729	11,236	12,290	12,637	12,993	13,359	13,736
業務費			46,190	46,375	46,513	46,607	46,700
総務費			41,931	39,933	39,795	39,901	39,973
合計			350,966	360,393	365,270	367,265	371,925

使用料対象経費 (税抜き、単位:千円)

年度 区分		H20	H21	H22	H23	H24
維持管理費		350,966	360,393	365,270	367,265	371,925
(控)雨水分繰入金		7,988	9,318	9,507	9,699	9,794
(控)汚水分繰入金		43,898	43,724	43,493	43,662	43,831
(控)人件費繰入金		600	600	600	600	600
(控)排水設備手数料		2,642	2,642	2,478	2,396	2,314
維持管理費分対象経費		295,838	304,109	309,192	310,908	315,386
資本費	減価償却費	459,670	466,340	469,206	451,772	455,770
	企業債利子	411,773	375,927	329,996	316,964	305,824
(控)雨水分減価償却費		318,737	323,406	325,434	313,242	316,065
(控)雨水分企業債利子		266,656	250,378	216,667	205,686	196,592
資本費分対象経費		286,050	268,483	257,101	249,808	248,937
使用料対象経費		581,888	572,592	566,293	560,716	564,323

使用料の改定率案 (税抜き、単位:千円)

区分 \ 年度	H20	H21	H22	H23	H24	着色部計
使用料収入	548,543	549,604	552,509	554,818	554,157	2,211,088
使用料対象経費	581,888	572,592	566,293	560,716	564,323	
不足額	-33,345	-22,988	-13,784	-5,898	-10,166	-86,181

$$\begin{aligned}
 \cdot \text{平均改定率} &= (\text{H20} \sim \text{H24の不足額}) / (\text{H21} \sim \text{H24の使用料収入}) \\
 &= 86,181 \text{千円} / 2,211,088 \text{千円} = 3.90\%
 \end{aligned}$$

料金体系改定案 (税抜き)

汚 水 量			現行	改定案	改定率
公衆浴場以外 の施設	基本汚水量	10m3までの部分	1,018円	1,054円	3.54%
	超過汚水量	10m3を超え30m3まで	124円	129円	4.03%
		30m3を超える部分	180円	188円	4.44%
公衆浴場	1 m3につき		52円	55円	5.77%

第5回運営委員会の主な質疑応答

Q: 開始貸借対照表に約1億円の未収金があるが内容は何か

A: 主なものは下水道使用料であり、年度を繰り越したものである

Q: 投資額がH5をピークに一旦減少した後、H10年度でまた増加した要因は

A: H5に花川南の汚水整備が完了した後投資額は減少したが、
H10以降、国の景気浮揚策に連動して投資額が増加した

Q: H19からH20にかけて3名減となったが、人件費はどのくらい減少したか

A: 平均給与額が約8,000千円なので、3人分で約24百万円の減となった

Q: 繰上償還で低利のものに借り替えた先はどこか

A: 全て銀行引受けであり、指定金融機関から借り入れた

Q: 資本的収入で、国庫補助金というのがあるがどんな基準に基づくのか

A: 下水道を建設する場合、施設ごとに定められた負担割合で国から補助金がでる

Q: 処理場費の内訳に西部負担金というのがあるが、これはなにか

A: 茨戸水再生プラザから発生する汚泥の焼却処分等に係る負担金である

Q: 施設の管理計画における物価上昇率1.5%の推計は実績と比べてどうか

A: 前回の改定でも1.5%の物価上昇を見込んでいたが、実績はそれ以下であった

しかし、前回改定では改定幅を抑えたことから赤字決算が続いた

総務省統計ではこの一年の物価上昇率は全国平均で1.8%であり、

前回想定値も加味して1.5%と推計した

Q: 手稲や茨戸の負担金は減少傾向にあるが、今後増加を見込んでいる理由は

A: 茨戸は札幌市水量が減るので負担増、手稲は札幌市水量が増えるので横ばい

Q: H21から修繕費が急増している理由は

A: 今までは赤字なので修繕費を絞り込んできたが、適度な水準に戻したい

Q: 不明水は割合に応じて公費負担として適正に繰入られているのか

A: 負担金は変動費に係る部分について一般会計から繰り入れされている

Q: パブリックコメントの内容はわかり次第、委員会に報告されるのか

A: 委員会には、平成21年1月に内容を報告できる見込み

Q: パブリックコメントというのは、何を聞くものなのか

A: 今回の諮問について市民がどういうご意見をお持ちかということをお尋ねするもの

Q: 改定の時期が平成21年10月となっているが、何か事情があるのか

A: 年度途中で他の諮問事項が入り込んできたため、ずれ込んだ

第6回運営委員会の主な質疑応答

Q: 不明水の繰り入れ基準はどうなっているか

A: 総処理水量と有収水量の差に変動費を乗じて算出している

Q: 過去の決算状況を企業会計方式で示してほしい

A: H17は約51百万円、H18は約11百万円の赤字、
H19は打切り決算のため約38百万円の黒字となったが、実質的には赤字

Q: 過去に実施した借換え債はあるのか

A: H18に約9.4百万円について利率7.4%から2.5%へ借換している

Q: 今後の長期間の収支見通しはどうか

A: 今回値上げしなかった場合は、H25から5ヵ年で約141百万円の累積赤字
今回値上げした場合は、H25から5ヵ年で約32百万円の累積赤字となる

Q: 広報に載せたパブリックコメントでは内容が理解しにくいのでは

A: 紙面の都合もあったが、計算例も載せてあるのでご理解いただきたい